

住みよいまちづくり情報誌

とさめき

新荘

Vol. 6

平成10年10月30日

発行 住みよいまちづくり新荘会
 事務局 水戸市新荘公民館
 (〒310-0036)水戸市末広町2-3-14
 Tel.029-221-7851

責任者 住みよいまちづくり新荘会
 会長 奥田 俊亮

編集 新荘会広報部
 印刷 東邦印刷株式会社
 題字・坂 俊治

「住みよいまちづくり新荘会」 奥田俊亮氏 会長に就任



平成八年四月一日から発足しました「住みよいまちづくり新荘会」は、田口会長のもと、「未来ある地域づくり」をモットーに、積極的に活動を展開してまいりましたが、五月十六日の平成十年度の総会において、田口会長がご退任の意思を表明されたため、奥田副会長が新会長として、就任されることになりました。新会長就任のご挨拶と、顧問として残られる田口前会長の新荘地区への限りなき愛情溢るゝお言葉をお送りいたします。



総会にて役員紹介

『安心して暮らせるまち 活力あるまちを目指して』

住みよいまちづくり新荘会
 会長 奥田 俊亮

今年度「住みよいまちづくり新荘会」の総会におきまして、会長という大役を仰せつかりましたが、私ごとき浅学非才の者が、この重責に耐えられるか甚だ不安であります。しかし、お受けいたしました以上、田口前会長が築いてこられた「新荘会」の組織・活動・伝統を守って、さらに住みよいまち新荘を目指して、微力ながら精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞ、自治会、高齢者クラブ、女性の会、子供会、PTA、民生委員、商店会等各種団体の皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

新荘地区は、高齢化、少子化の進んでいる地区です。高齢者の方々も、共に楽しく暮らせる町、住んでよかったと思える町でありたいと思います。

新荘地区内を見渡した時、数多くの学校、神社、寺院、そして、史跡等があることに気付きます。文教の町、歴史の町、文化の匂いのする町なのです。これらの特性を活かし、地区の活性化を図っていく事も大切なことだと思えます。

今丁度、保和苑の「あじさいまつり」が行われております。今年は特に、大河ドラマ「徳川慶喜」の影響もあってか、史跡の見学も含め、毎日のように大変な賑いを見せております。

「住みよいまちづくり新荘会」では、総務自治部、広報部、スポーツ・レクリエーション部、生活環境部、福祉厚生部

という五つの部会で、公民館や各種団体との連携のもとに、ご協力をいたゞきながら様々な事業を展開しております。

市民運動会は、地区内の住民が、老いも若きも、小さな子供たちまでもが、一日、スポーツ・レクリエーションを楽しみ、一大行事です。地域の特色を出そうと、役員の方々の力の入るところです。

また、新荘地区内の行事として、他に見られないものに「新荘音楽祭」ふるさと研究会「いきいき教室」などが行われており、年々盛況になっております。

最後に、今後の課題として、目下準備中に「防火組織」の確立があります。阪神、淡路大地震の教訓を生かし、平素より防災に対する意識の高揚をはかり、心構えを学んでおく事、更に、「いざ」という時の活動や役割分担等、しっかりとした組織を作り、常に備えなければならぬと思います。

以上「新荘会」として取り組んで行く問題は、山積しておりますが、地区内の皆様のご協力、ご支援、ご鞭撻によって、一つ一つ実践に移して行けばと思っております。よろしくお願い申し上げます。

△新役員▽

会長	奥田 俊亮
副会長	倉持 久男
総務自治部長	倉持 久男
広報部長	細谷 規行
スポーツ部長	平山 晴雄
生活環境部長	川上 利通
福祉厚生部長	入江 清男
防災部長	坂場 鶴吉
事務局長	倉持 久男

見つけたい新莊

新莊会顧問 田口 五郎



新莊は誠に恵まれた地域です。

先ず第一に、豊かな歴史に包まれています。八幡宮から二十三夜尊周辺に至る歴史ロードの沿域、そして、幕末における志士達の尊い骨を埋めた共同墓地、更に、水戸藩ゆかりの武家屋敷の跡をとどめる新屋敷一帯、歴史研究の本山となっている県立歴史館の存在、その何れをとっても歴史と深いかわりを持っています。

第二に、神仏にゆかりの深い環境にあります。祇園寺等隣接をふくめて八寺の仏閣があり、加えて、周辺に八幡宮や常磐神社が大きく存在します。

第三に、教育環境に恵まれた地域です。かつて、旧制水戸高校はなやかなりし土地柄で、多くの学生が居を求めて、下宿や間借りで賑った地域で、現在でも水戸商高を始めとして、高校が五校(二校は隣接)もあり、更に常磐大学が目前に接しています。

何れをとってみても、静かなる環境、ふるさととしての歴史で一

杯ですが、その動きを公民館を中心とした生涯学習の現況をとってみても、充分に裏付けられています。

公民館を拠点としたクラブ活動のグループも、二十四組、十二の教室に、参加者延八百人に及ぶこの盛況は、市内公民館でも特段の活動を示しております。内容でも大きな特色があります。中でもふるさと研究会、山野草クラブ、古文書研究会等は、直接に歴史の頁をひもどいています。勿論、書道・生花・茶道等の古典部門や、スポーツ・ダンス・歌謡、その他一般的な現代分野も、その巾を充分に広めています。

更に、文化的企画として、新莊地区音楽祭の祭典が目立ちます。今年には第八回となりますが、地区内の小中高校を中心として、市消防署や女性の会、母の会等の積極的参加で、年毎に盛大となっております。

最後にあります。現在、市の中央部と云われる三の丸・五軒・新莊等は、いずれも高齢化が激進して、高齢化の最も顕著な地域となっております。

一例をあげますと、一時、千五百人にのぼった小学校の児童数が現在、四百名を割っていますし、人口も一万五千人が、七千八百人と減少甚だしいものがあります。

殊に、市内で最高の高齢化現象を呈してしまっていて、六五以上の

方の人口は、本年一月で二四%を越え、平成十年には二五%に昇る予想が立ちます。日本国民の全体予想では、二〇二〇年ですので、二十年の先取りとなる訳です。

これらの点で置かれている現状を充分に見据えて、我等の愛するこの地に住んでいる者として、何から、そして、何を始めたらよいのかを、地域の問題として皆で考え、心を合わせて実行すべき時を迎えていると思います。

新莊会の努力によって、手始めに地域の問題として、「新莊の将来を語る会」が開かれるのが望ましいことだと考えています。

『備えあれば、憂いなし』

徳川 斉昭

『天災は、忘れた頃に来る』

寺田 寅彦

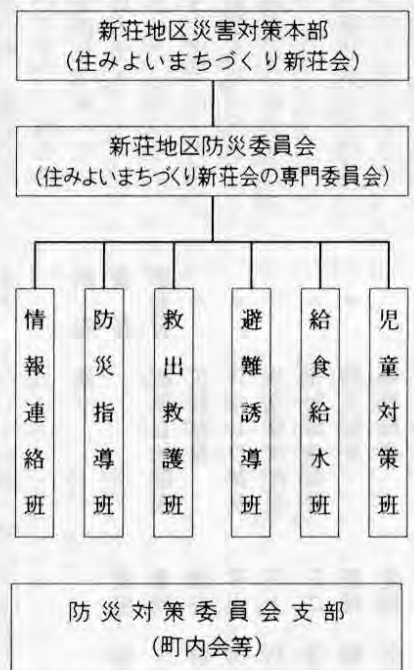
新莊地区防災対策委員会の設立について

防災対策委員会 委員長 坂場 鶴吉

地震等の災害が発生した場合、地域住民の生命・財産を守るためには、平素から防災に関して十分な知識を持ち、情報の収集、初期消火、救出救護、避難誘導及び給食給水等の的確な行動をとることが、被害軽減の上からも不可欠の要素です。阪神大震災やこの度の台風の通過によって生じた集中豪雨による河川の氾濫等の災害も、

自主防衛組織の方や、ボランティアの方々の行動によって、被害を最小限にしております。

新莊地区災害対策本部組織図



新莊地区におきましても、自主防衛組織化の必要性については、「ときめき第五号」でお知らせしましたが、本年五月の新莊会の総会において、「新莊地区防災対策委員会」が設立されました。

その概要を申し上げますと、委員会は災害対策本部の事務局として、新莊会の組織団体の代表者で構成し、防災対策、防災訓練等災害発生時における有効適切な行動が出来るような、基本となる防災計画の策定をいたします。

次に、災害対策本部は、「新莊会」の総力を結集して、被害の防止と軽減を図るため設置されました。「新莊地区災害対策本部組織図」のとおり、防災組織の活動班を編成してその任にあたります。班員には、新莊会の各種団体の会員がごりります。

今後は、年次計画で、防災資器材の設備や防災関係機関等と連携を保ち、防災に関する知識の普及と啓蒙と訓練を重ね、災害に強い快適で住みよいまちづくりの推進に努めていきたいと考えております。又、地区を幾つかのブロックに分けた自主防衛組織化の促進化を図りたいと考えております。

平成十年四月から九月迄の人事及びイベントについて

- 四月 体育指導員の交代
藤村真子さんから大部絹子さんへ
- 五月 新莊公民館職員の変更
新莊会 総会 役員人事
田口会長 顧問に就任
社協 総会 役員交代
- 六月 花苗の配布
- 七月 花壇コンクール
- 八月 新莊ふれあい電話開設
- 九月 敬老会開催

「ときめきの発信地」公民館

平成十年四月一日付の人事異動で新荘公民館の職員に異動がありましたので紹介いたします。

市では年次計画を立てて公民館にコミュニティ担当職員の配置を行っておりますが、今年度は市内四館に職員を配置することになり新荘公民館にも一人職員が参りました。異動して参りましたのは、堀江徳一です。堀江は市都市計画部街路建設課よりの異動です。柳河公民館勤務の経験もあります。よろしくお願いいたします。

コミュニティ担当は、地域の様々な自治活動がより自主的に、より自律的に、より活発に繰り広げられるよう支援していくことが職務です。今年度より二年間の職員配置で、その後、嘱託職員が三年間配置されることになっています。

また、嘱託職員の出沢由紀が桜川公民館へ異動いたしました。大変お世話になりました。その代わりに新しく採用になりました斎藤敏子が参りました。よろしくお願ひいたします。

人と情報の集まる新荘公民館を目指して今後も頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。

堀江さん



斎藤さん



ふれあい電話開設

『心で聴く交信を』

「いつまでも

健やかな生活」を願って「新荘ふれあい電話の会」発足

このたび、「住みよいまちづくり新荘会」は、今年度の新しい事業の一環として九月一日（火）を期して、お年寄りへの「ふれあい電話」の交信を開始しました。

この会は、新荘学区に住む一人暮らしのお年寄りを対象に、「ふれあい電話」を通して、心のよりどころと健康の安否をはかり、福祉の向上を目的に設立されたものです。

昨今の社会情勢は、核家族化への推移、高齢化社会への急速な進行といった中で、一人暮らしのお年寄りの増加といった現象に対して、極めて、適切な対応として評価されるものと考えます。

次に、交信等の概要について述べてみましょう。

交信日 毎週 火曜日（但し祭日は除く）

交信時間 午後一時より四時迄

留意事項

1、秘密は厳守します。絶対に口外しませんので、安心してお話し下さい。

2、相談の内容によっては、（専門的な相談）関係機関と連絡をもち、適切な対応をはかり



お元気ですか ふれあい電話

ます。

3、その他、ご不明な点がありましたら、お問い合わせ下さい。

「感想」（最初の発信者から）最初は、普通電話をかける時と同じ具合でかければいいんだと思いつつも、緊張感で不安が一杯でした。（回りに当日の同僚の方々がいらしたせいもあったのででしょう。）

会話が進むにつれて冷静になり、話はずんずん進んでいく中で、話ぶりから電話を待っていたんだなという実感が伝わってきて、嬉しくなってきました。

「今日始めて口をききました。ありがとうございました」

終わってみると短い時間でしたが、お電話をかけてよかった、という実感と、初めての仕事を成しとげたことからの若干の疲労感を味わいながらも、ほのぼのとした安堵感に満ちました。

今後、初心忘るべからず、感謝される交信を続けていきたいと思っております。

自然の中、親子で学ぶ

「ふれあい教室」〈五年生〉

去る五月三十日（土）新荘小学校の校庭に、約六十名近くの児童とその教員の保護者の方々が、各人自身軽なスタイルで集まってきました。

まず最初に、親子に丁寧な説明をされたのが、茨城虫の会の代表で「ビスマイトトンボ」の貴重な発見者で、著名な広瀬 誠先生でした。

この日は、自然を対象にして、親子が、共に歩み、語り、そして、共に学ぶ「親子で学ぶふれあい教室」の日で、PTAと新荘公民館の共催で行なわれました。

日頃、通学途上で目にふれ、その上、目を凝らして見られる様々な趣の異なる花々や、独特の匂いを発散させる魅力的な植物を通して、自然のもつ美しさや豊かさを、今日は親子で味わおうというものでした。

花を愛し、自然の恵みに感謝することを、親子の間で学んだ児童達は、きつと採集した草花の中から心のふれあいを強く感じて、豊かに成長していきたくらうと感じました。



広瀬先生の説明を聞く親子

『成人病予防のための食生活』

新荘公民館、新荘女性の会共催で、女性学級の第一回の行事として、去る七月二十三日、栄養士の中尾潤子先生をお迎えして、成人病予防のための食生活についてのお話を拝聴しました。

お話の要旨は、
I 栄養のバランスのとれた食生活
II うす味に心掛け、塩分を少なめに、糖分を取り過ぎない
III 脂肪に注意する
IV 植物油はほどほどに
V 禁煙・節酒と適度な運動を



盛況の料理教室

その後で、次のようなメニューで調理実習をしました。

- 1、鱈の香草焼き
- 2、南瓜とブロッコリーのサラダ
- 3、海草ミックスごま風味
- 4、甘夏かん

実際に調理したものを試食してみると、日頃自分が考えていたうす味より、もっと塩分を減らさなければならぬことを痛感しました。

「新荘塾近代建築講座」

新荘三丁目にある国の登録文化財をご存知でしょうか。水戸商業高校にある旧本館玄関がそれです。少なくなりつつある近代の建築物を保存しようと平成八年度からスタートしたのが文化財登録制度で、この年、東大安田講堂や歌舞伎の南座（京都市）などとともに本県からこの建物と市内北見町にある市水道部低区配水塔が登録されました。

脚光を浴びている江戸時代に続き明治からの近代化が水戸でも着実に始まりました。その跡を現物として物語るものが歴史的建造物で、多くは戦災などで消失しましたが、先の二建物の外にも県庁の本庁舎、東京三菱銀行水戸支店などが残っています。

水商の旧本館玄関は駒杵勤治の設計で明治三十七年に竣工、低区配水塔は後藤鶴松の設計で昭和七年竣工、県庁本庁舎は置塩章の設計で昭和五年竣工、東京三菱銀行水戸支店は新家孝正の設計で明治四十二年竣工です。いずれも、当時評判になった建物でした。



水戸市低区配水塔

七月三十日、開催した新荘公民館の「近代建築講座」は、この建築物を見て回るもので、約二十名の方に参加いただき、建物の持つ歴史的景観の意味や都市形成史を現物の前で考えてきました。これらの建物は水戸に時間という奥行きを加え、歴史都市水戸を感じさせてくれています。新荘地区でも戦災にあわず貴重な商店街の景観が残されている地区もあり、景観をうまく生かしたまちづくりの発想が参加者から聞かれました。

「陶芸にチャレンジ！」

新荘公民館では、毎年夏休みに新荘小学校の児童を対象に、夏休み少年少女教室を開設します。今年度は、今密かなブームになっている陶芸教室を企画しました。「陶芸にチャレンジ」と題して、七月二十二日・八月二十五日の全二回で、新荘二丁目にお住まいの岡本久四郎先生のご指導のもと開催されました。定員二十五名で募集したところ、あつという間に定員を超え、キャンセル待ちが出る程の大盛況でした。



先生に注目 陶芸教室

な作品もいくつかありました。作品は、三週間程乾燥させた後、八〇〇度の窯で素焼きします。素焼きになると一回り程度小さくなりました。

……絵付け（八月二十五日）……

素焼きにした作品に、専用の絵の具を使い、思い思いの絵を描いていきます。花や動物を描いたり、名前を入れたりオリジナルの個性あふれる作品が作られました。絵付けされた作品は、まるで、命が吹き込まれたかのようにでした。

絵付け後、釉薬をかけ、一二五〇度の窯で焼き、やっと完成です。小さな陶芸家がたくさん誕生しました。今回の作品を通して、手作りの温かみを感じ、作ることの楽しさを実感してほしいと思います。

ソフトバレー熱戦を展開

かねてから懸案であった「ママさんソフトバレー」の町内対抗が（学区代表選出をかねたレクリエーション）スポ・レク部主催によって、九月二日午後七時から新

荘小体育館で開催されました。各町内への回覧によるPRの結果、参加者は応募者を含めて、約四十名の参集を得ました。

参加選手の大半が初体験という本場に素人の集団であるだけに、ボールが思うようにならず、四苦八苦する姿に爆笑を誘い、和気あいあいの中に時の過ぎるのを忘れさせる程でした。



ガンバレ！ソフトバレー

ソフトバレーとは、ボールはゴム製のもので、競技者は四名、コートはバドミントンの外側のラインを使用し、ネットの高さは二メートル、ルール規定は六人制バレーの規定と同じで、サーブス権を得たチームは、時計まわりで選手の位置を移動します。

従来のバレーボールとは異なつてボールがゴム製で柔らかいので、指を痛めることもなく、ファミリーだけでも、年齢制による男女のチーム編成もでき、巾の広さが特色で、人気上昇中のスポーツです。

試合参加チームは、ママさんが四チーム、パパさんが一チームのトーナメント方式で実施しました。お蔭様で元気一杯、一人の故障者

もなく無事終了できました。結果は次の通りで、次の両チームは、学区代表として十一月十五日（市民体育会館）水戸市学区対抗大会へ、十月四日（五軒小体育館）中央ブロック大会に出場することになっていきます。

第一位 スノーピーチーム
梅原・名越・阿久津
鈴木・根本

第二位 ビカチュウチーム
影山・蔵本・池田
松村・森居

皆さんの盛大なご声援をお願いします。（根本記）

編集後記

長い間ご活躍いただいた広報部のメンバーの方々が、一新しました。本場に長い間御苦労様でした。その為、今年度から新しいメンバーで開始しました。なにぶんにも不慣れな編集能力から、約一ヶ月ほど皆様のお手元にお届けするのが遅くなりました。

前号迄の内容に比べまして、極めて遜色甚だしいものがあります。が、鋭意皆様のご期待に沿うような内容を提供致す所存ですので、今後共、よろしくご支援、ご指導の程をお願いいたします。

最後になりましたが、今回の内容につきまして、多くの方々からご多忙の中、貴重な玉稿を賜り、心から深く感謝いたしております。

（広報部 細谷）